

愛知県立一宮工科高等学校では5つの学科（IT工学科、機械科、電気科、建築デザイン科、都市工学科）があり、それぞれの特色を活かして、地域でも活動をされています。今回は各学科の取り組み内容等について紹介します。

リバーサイドフェスティバルへの出展

本校では、20年以上前から各学科の特色を活かして、リバーサイドフェスティバルにブース出展しています。今年は5月4日に都市工学科の橋梁模型、5日にIT工学科のプログラミング体験で出展しました。

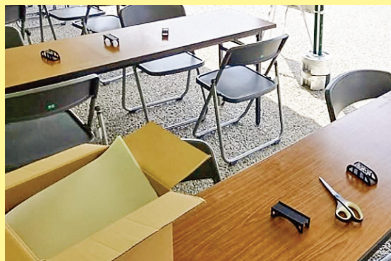
また、過去には機械科がメロディーペットの試乗、電気科がプリントが施された、紙飛行機の製作で出展し、毎年地域の方に楽しんでいただけるように工夫をしながら取り組んでいます。



IT工学科「プログラミング体験」の様子



機械科「メロディーペット試乗」の様子



都市工学科「橋梁模型」の様子



電気科「紙飛行機の製作」の様子

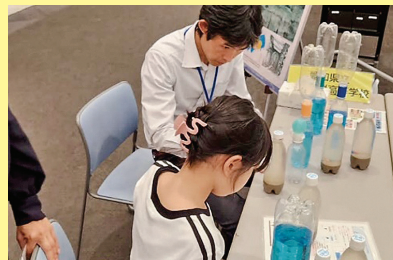
親子ものづくり教室

「親子ものづくり教室」は、2011年に千秋町連区から、お声掛けいただき始まった教室です。いつもは学んでいる生徒が、先生となって知識や技術を発揮し、次代を担う小学生に「ものづくり」のこころや基礎を伝えていくということが目的です。なお、コロナ禍で教室を休止していましたが、今年度から再開する見込みで、今年のメニューは建築デザイン科の「小椅子づくり」とIT工学科の「プログラミング体験」を予定しています。このように一宮工科高等学校がある、千秋町連区とのご縁も大切にしていきたいと考えています。



防災展への出展

イオンモール木曽川で行われている防災展に都市工学科が出展しています。都市工学科では都市防災について学ぶ機会があり、その学びを活かし液状化現象のモデル体験等を行い、地域の皆さんに防災について意識していただく一助となればと考えています。



取材を終えて・・・

一宮工科高等学校では専門的な知識を学びながら、それを基にした地域や連区への活動をされていることが分かりました。今後も、学校での学びや地域での活動等のさまざまなお話を聞かせていただきたいと思います。